

2024年6月改訂  
(下線部)

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

# “葛根湯乾燥エキス配合” ファストストップW

(かぜ薬)

第②類医薬品

## 特徴

ファストストップWは昔からかぜ薬として愛用されている漢方薬(葛根湯)を主薬とする副作用の少ない緩和なかぜ薬です。現在「かぜ」と云えば軽く考えがちですが昔から「かぜは万病のもと」と云われています。かぜにかかったため抵抗力が落ち他の病気にかかりやすくその症状は大変複雑です。かぜにかかるとまず寒気がする、くしゃみが出る、鼻水が出る、頭が重いといった症状が現われ、これが進んでせきや発熱、関節の痛み等が加わり、さらに肺炎を併発するという事になります。かぜは早いうちに治療することが大切です。本製剤はかぜの初期症状をやわらげる葛根湯、解熱・鎮痛に効果のあるエテンザミド、アセトアミノフェン、鼻水、鼻づまり、くしゃみ等のアレルギー症状にクロルフェニラミンマレイン酸塩、せきをしずめるノスカピン、頭痛を改善し他薬の効果発現を高める無水カフェイン等の成分により、かぜの諸症状にすぐれた効果を発揮します。

## ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

#### 1. 次の人は服用しないこと。

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) フェニルケトン尿症の人。(本剤はL-フェニルアラニン化合物を含有するため。)

#### 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと。

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

#### 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気等があらわれることがある。)

#### 4. 服用前後は飲酒しないこと。

#### 5. 長期連用しないこと。

## 🗨 相談すること

#### 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、高血圧、腎臓病、心臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

#### 2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステイブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死融解症 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。

(裏面に続く)

薬剤性過敏症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根等）のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢、尿量の減少等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

## 効能・効果

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、悪寒（発熱によるさむけ）、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## 用法・用量

次の量を食後なるべく30分以内に服用してください。

年齢	15歳以上	11歳以上 15歳未満	7歳以上 11歳未満	3歳以上 7歳未満	1歳以上 3歳未満	1歳未満
1回量	1包	2/3包	1/2包	1/3包	1/4包	服用しないこと
服用回数	1日3回					

## 【用法・用量に関連する注意】

- 定められた用法・用量を厳守してください。
- 2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させること。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用してください。

## 成分・分量 1日量：3包中（1包1.1g×3）

成分	分量	成分	分量
葛根湯エキス (カクコン…2.4g ケイヒ…0.9g) マオウ…1.2g ショウキョク…0.9g ショウキョウ…0.3g カンゾウ…0.6g タイソウ…1.2g 原生薬として7.5g)	1500mg	クロルフェニラミンマレイン酸塩	7mg
エテンザミド	450mg	無水カフェイン	100mg
アセトアミノフェン	300mg	ノスカピン	30mg

添加物として、アラビアゴム末、アルファー化デンプン、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、アスパルテーム（L-フェニルアラニン化合物）、含水二酸化ケイ素、ヒプロメロースを含む。

## 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- 使用期限（外箱に記載）を過ぎた製品は、服用しないでください。
- 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

本品についてのお問い合わせは、下記にお願い申し上げます。  
 至誠堂製薬株式会社 TEL.0745(62)5555  
 受付時間 10:30～15:00(土、日、祝日を除く)  
 お客様相談室へ

